



関東(東京以外)・・・49

茨城県		千葉県	
310食堂	水戸市	こども食堂 さきくさ	千葉市
にここ食堂	水戸市	空いろ食堂	千葉市
ii場所「みらサボ」	龍ヶ崎市	KOSO こどもクッキング	船橋市
生活学校こども食堂	坂東市	凜童舎 シニア・子ども食堂	船橋市
つくば「子供の家」食堂	つくば市	あさひ子ども食堂	旭市
ほべたん食堂	下妻市	市川こども食堂	市川市
八千代オハナこども食堂	結城郡	おむすび食堂	船橋市
栃木県		子ども食堂流山 から風流	流山市
昭和こども食堂	宇都宮市	こがねはら子ども食堂	松戸市
Ozeこども食堂	下都賀郡	松戸こどもカフェ Café de Lapin	松戸市
たかねざわ ほかほか食堂	塩谷郡	ふらっとホーム	八千代市
ほほえみこども食堂	佐野市	神奈川県	
MAKANAこども食堂	河内郡	胸岡 丘の上こども食堂	横浜市
群馬県		スマイル小山台「スマイル食堂」サービス	横浜市
ひたまり子ども食堂	安中市	子ども食堂 「たまブラごはん」	横浜市
埼玉県		ナナ食堂	横浜市
さいたま子ども食堂	さいたま市	のぼこども食堂	横浜市
えだまめこども食堂	上尾市	ムーミンなかま食堂	横浜市
こども食堂「ころあい」	吉川市	こども食堂 home	川崎市
越谷こども食堂	越谷市	相南ハッピーこどもしょくどう	相模原市
みなみこしがやこども食堂	越谷市	だがしあたー イエスマン	相模原市
コミュニティキッチン	所沢市	なごみこどもしょくどう	相模原市
ところざわこども食堂	所沢市	南台こどもしょくどう	相模原市
東松山子ども食堂 チ・アモ	東松山市	ほんそん子ども食堂「いただきます」	茅ヶ崎市
ホットほっとタイム	上尾市	Yokosuka 子ども食堂	横浜賀市
まぜこぜ食堂	新座市		
よってって キッスベリ	比企郡		
わいわい夕食会	鴻巣市		

東京・・・81

東京都		東京都	
みなみすなこども食堂	江東区	下町こども食堂千束	台東区
からだメンテナンス×こども薬膳食堂	品川区	わんがんこども食堂	中央区
北品川クロモンこども食堂	品川区	池袋こども食堂	豊島区
銀座	品川区	要町あさやけ子ども食堂	豊島区
すこやか食堂	品川区	がんばれ！子供村 こども食堂	豊島区
となんこども食堂	品川区	椎名町こども食堂	豊島区
あーすりんくきっちゃん〜原宿つながる食堂	渋谷区	東池袋こども食堂 キッチンOh!WAY	豊島区
新宿ニコニコこども食堂	新宿区	みんなの食堂	中野区
板橋区 板橋区	新宿区	キラキラこども食堂	練馬区
板橋区 板橋区	新宿区	石神井ゆうやけ子ども食堂	練馬区
板橋区 板橋区	杉並区	ダイコンこども食堂	練馬区
江戸川区 西荻・寺子屋食堂	杉並区	別邸ダイコンこども食堂	練馬区
大田区 風神亭まんぶくこども食堂	杉並区	太閤の子 東大泉学園子ども食堂	練馬区
大田区	墨田区	ねりまこども食堂	練馬区
葛飾区 胸沢子ども食堂	世田谷区	こども食堂 ゆうやけこやけ	練馬区
葛飾区 せたがやこども食堂・みっと	世田谷区	おたがいさま食堂せんごく	文京区
葛飾区 世田谷さんさん子ども食堂	世田谷区	坂下おかえりごはん	文京区
北区 ぞんみょうじこども食堂	世田谷区	マチイク子ども食堂	文京区
北区 ようがこども食堂	世田谷区	みなと子ども食堂	港区
北区 若林子ども食堂 みのり	世田谷区	めぐろおいしい子ども食堂	目黒区
江東区 下町こども食堂さくら	台東区	めぐろこぼんぎ子ども食堂	目黒区
		ふろしキッチン こども食堂	練馬区
		あきしまこどもクッキング	昭島市
		クッチナいなぎ	稲城市
		竹丘子ども食堂	清瀬市
		みんなの居場所＊また明日	小金井市
		まるちゃんCafé	小平市
		こども食堂かくしょうじ	調布市
		ちょうふ子ども食堂	調布市
		西東京わいわいクッキング	西東京市
		はちおうじ子ども食堂	八王子市
		滝山ふれあい子ども食堂	東久留米市
		東村山こども食堂 stand by me KOBOS	東村山市
		南台こども食堂	東大和市
		けんけん(健健)こども食堂	日野市
		こどもの居場所作り@府中	府中市
		コミュニティキッチン鶴川	町田市
		にここ清風食堂	町田市
		みたかやま子ども食堂	三鷹市
		三日月子ども食堂	武蔵野市



こども食堂 サミット2017

～こども食堂のつづけ方～



【主催】
豊島区、豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、こども食堂ネットワーク

北海道…2

北海道	
はこだてこども食堂	函館市
街のぬくもり 本町こども食堂	函館市

東北…8

岩手県	
インクルこども食堂	盛岡市
宮城県	
コスモス子ども食堂	石巻市
いずみ子ども食堂	仙台市
おりざの食卓	仙台市
宮城野子ども食堂	仙台市
山形県	
あさがお子ども食堂	山形市
ゆあら元気食堂	米沢市
福島県	
すかがわこども食堂わらりら	須賀川市

こども食堂 参加こ

東京都
あだち子ども食堂
北千住やさい子ども食堂
まつりかこども食堂
子ども村:中高生ホットステーション
ほっこりアイランド in 南千住
あったかごはんの会
ことぶき子ども食堂
地域リビング おかえりごはん
南蔵院こども会
前野町子ども食堂 わくわくランド
えどがわあったか子ども食堂
キネマえがお食堂
だんだん こども食堂
あおこども食堂
あったかキッチン水元
ハルこども食堂
子ども食堂 キタクマ
滝野川子ども食堂
子ども食堂「ののほな」
豊洲こども食堂

甲信越・北陸・中部…20

新潟県	
にいがた「ふじみ子ども食堂」	新潟市
富山県	
オタヤこども食堂	高岡市
石川県	
かなざわつ子nikoniko食堂	金沢市
福井県	
ひまわりこども食堂	福井市
こども食堂 青空	敦賀市
こども食堂 松原	敦賀市
山梨県	
ひがしつこども食堂	甲府市
大月こども食堂	大月市
長野県	
信州こども食堂	松本市
のぞみ食堂（※2017年4月開設）	小諸市
静岡県	
麻機ベーター子ども食堂	静岡市
飯田子ども食堂	静岡市
丸子せんマル子ども食堂	静岡市
ゆずのひ	静岡市
竜南ひまわり子ども食堂	静岡市
Smile熱海寺子屋@今宮神社	熱海市
みんなのみしま	三島市
愛知県	
心の子こどもはん	名古屋市中
なかよしこはん	名古屋市中
こまき 子ども食堂	小牧市

近畿…21

三重県	
鈴の湯こども食堂	松阪市
京都府	
嵐山こども食堂	京都市
東九条こども食堂	京都市
よのなか塾 こども食堂	舞鶴市
大阪府	
菅原こども食堂	大阪市
なごほりこども食堂	大阪市
にしなり★こども食堂	大阪市
はぐ食堂	大阪市
池田こども食堂 さくら	池田市
ココ こども食堂	富田林市
たかつき子ども食堂	高槻市
なわて子ども食堂	四條畷市
ふれ愛 子ども食堂	寝屋川市
こども食堂mominoki	三島郡
兵庫県	
ながたこども食堂	神戸市
こども食堂 はくくみ	神戸市
放課後等デイサービス わおん	神戸市
明石こども食堂plus花園こどもレストラン	明石市
奈良県	
こども食堂いかるが	生駒郡
CODOMO食堂かんまき	北葛城郡
和歌山県	
冒険こども食堂	和歌山市

中国・四国…5

広島県	
こども食堂 きんちやいごはん	広島市
山口県	
とりてこども食堂	岩国市
徳島県	
ミタスカフェ	徳島市
香川県	
ヒューマン・ハーバーこどもカフェ	高松市
みき 子ども食堂	木田郡

九州・沖縄…9

福岡県	
キッズカフェ「タベルバ」	福岡市
福岡こども食堂	福岡市
リトルワールドわくわく広場	福岡市
おおのじょうこども食堂 みずほ町	大野城市
おおのじょうこども食堂 おおり	大野城市
おおのじょうこども食堂 瓦田公民館	大野城市
ふくおか筑紫フードバンク&子ども食堂	大野城市
鹿児島県	
森の五里子ども食堂	鹿児島市
沖縄県	
子どもの広場 in 那覇	那覇市

この欄は、こども食堂ネットワークにご提出いただいた「参加同意書」を基に制作しました。もし、ご近所に参加を希望されるこども食堂さんがいらっしゃったら、ぜひお問い合わせください。参加同意書は、こちらからダウンロードをお願いします。
http://kodomoshokudou-network.com/pdf/douisyoyo.pdf

こども食堂をつづけるために 必要な資源（場所、資金、食材、ボランティアなど）を 確保するための実践例

●NPO法人 「チャイルドクアセンター」（福岡県）

ふくおか筑紫子ども食堂ネットワークとして、福岡県大野城市、太宰府市、筑紫野市、那珂川町で、「こども食堂」の運営支援を行なってきた。また、子ども食堂の開設と同時に「こども食堂」に特化した「ふくおか筑紫フードバンク」を立ち上げた。食材の提供をうけ、提供する場において、企業、個人、団体などから、冷凍品だけでなく、常温の食材などの管理、保存していく責任上、保健所やエコノープ、グリーンコープ、福岡県サイクル研究所などの食品のフロからアドバイスをいただきながら、フードバンクとしての体制整備を行ってきた。現在は、安心安全の中で食品を受け入れるだけでなく、食材を提供する子ども食堂さんに対しての衛生管理や食材の管理などの勉強会を行うことができ、また、ここで、企業からも買われているだけでなく、食材、衛生物品（マスク、手袋、帽子、消毒剤など）の提供をしている子ども食堂さんからも大変喜ばれている。その他、企業のCSRと協力し、当団体が運営するこども食堂を開催しながら、地区公民館でのこども

食堂の立ち上げ、運営支援を実施している。以下、形の違う子ども食堂の運営状況

①「おおのじょうこども食堂 みずほ町」株式会社 西松建設さんの社員寮にある食堂と調理室をこども食堂として利用し、管理入室として使われていた場所を備品倉庫として無償提供を受けている。

企業側から、NPOへの何らかの応援ができないかと連絡があり、立ち上げ支援をしたこども食堂を視察してもらう。その後、当団体として独自開催するこども食堂の場所が欲しいと伝えると、大野城市内にある社員寮の話が浮上り、協議を重ね現在に至る。

・メンバー
NPOスタッフ、会員、地域ボランティア、こどもの絵本専門店、西松建設社員寮のみなど

・打ち合わせなど
事前に実行委員会が開催せず、当日ボランティアをふくめたミーティングで仮食事を実施する。その中で、次回の基本メニューを決定。
②「大野城市内の公民館 こども食堂」大野城市内27行政区にあるこの公民館で、

順次こども食堂をオープンすることが、区長会で決定。3カ所の公民館でこども食堂の立ち上げと運営補助を行い、28年度に入り、新たに4カ所でのこども食堂の開設に向け、実行委員会を立ち上げている。区長を中心に、文化部・福祉部・子供育成会・貸出文庫部・食改審部会の代表などで構成する実行委員会を設置し、地域全体でこども食堂を運営している。公民館の事業として位置づけられているので、調理室や空調、電気代ガス代など一切無料。

③「特別養護老人ホーム悠生園内 こども食堂」

特養でこども食堂を開催できないかとの相談があり、会場の下見、人員配置など開催に向けて調整をし、ボランティア（筑紫女学園の学生や教師）とともに、開催した。

④当団体が運営していた「ふくおか筑紫フードバンク」は、27年7月より、運営委員会を組織して運営している。現在は、事務局を当団体が担っている。

○E: <http://chikushifoodbank.net/>

●信州こども食堂（長野県）

長野市から後援をいただけたので、優先し

て会場を取ることができるようになった。また、地域の食材の会社から肉や冷凍食品の支援をいただけたり、農家さんから野菜、米を提供していただいたり、県庁、市役所でフードドライブを開催したりと様々な方から多様な支援をいただけるようになった。

●ねりまこども食堂（東京都）

資源確保は、全てにおいてネットの力が大きいと思います。

●下町こども食堂 さくら下町こども食堂 千束（東京都）

現在は食材、ボランティアの面で地域との連携がとちまちま進んでいます。こまめに地域の方のお付き合ひの中から、いろいろな手助けをしてくれる人がつながっています。

●はこだてこども食堂（北海道）

新聞コラム、ブログなどで活動を知った方から食材の寄付をいただく。米・野菜・農家、魚・漁師・魚屋、肉・肉屋、たまご・パン屋、調味料・飲食店・メーカー）

●**コトコトイ食堂**(元・日光子ども食堂)
(栃木県)

【場所】
母体施設で行っているため、あまり負担を感じていません。

【資金・ボランティア】

資金はアルバイトなどをし確保しています。ボランティアさんはいませんが、「予約制」であること、「認知されていない」ことも自分のベースで出展していると思います。開催1年を過ぎ、「地域ニーズ」と、続けるための大切な柱として、「無理をしないこと」で現在は負担も感じていません。

【食材】こちらについても、無理をせず、「しかし栄養を考えた地元日光の美味しい野菜を中心に、若いお母さんが家にできるようなメニューを出しています。」

「うまくいっている実践」
地域ニーズとして、新たに「おとな食堂」を始めました。好評です。

●**かがやき子ども食堂 千葉県**

地域の農家さんつながっているため、野菜の確保がうまくいっている。

●**せんげん台子ども食堂**(東京都)

自治会が協力的で、連日自治会の機関紙に取り上げてもらったり、支援のチラシを自治会に回覧してもらったり、自治会の掲示板にポスターを貼ってもらったりしています。場所、資金、ボランティア・食材の確保などあらゆる面で、地域で多くの方からバックアップを得ています。

●**滝野川子ども食堂**(東京都)

◎「自治会館を会場として無料で貸してほしい」と、自治会の理事会で了解した
◎他の市民活動、知り合った仲間が共感してスタッフに加わったり食材の提供、寄付に協力してくれる

●**みなみすな子ども食堂**(東京都)

場所はコメンバの経協場所、資金は寄付と利用者からの利用料と社協さんからの助成(今後の予定、ボランティアは地域の子ども関係の仕事経験者の声かけなど)

●**キタナラ子ども食堂**(千葉県)

発起人がカフェ経営者なので当然飲食店営業許可証があり、スペースや食器、調理道具など必要なものがそろっていた。食材はカフェの取引先に協力してもらい無償提供を受けている。スタッフはカフェのお客様や地域の人脈を使ったり、カフェのSNSなどを駆使し募った。

●**たまプラーはん**(神奈川県)

場所・地域カフェプラザの協力により、設備費等が無料で使用できます。
食材・地域柄、共働き家庭やひとり親家庭が多い反面、古からの地元の方(農家、それ以外)も多く、毎回食の二提供やお米現金も「寄付頂けており、地域性が大きい」と思っています。
地区社協の助成があり、検便なども無料で実施。

ボランティア・立ち上げスタッフのほとんどが民生委員、学校関係、PTAのOBで

●**東長寺いこい食堂**(東京都)

お寺主催のごとも盛のため、ボランティアでお手伝い下さる方は種指徒が多く、寺報(年4回発行)やHPでの活動報告、SNSでの情報発信を見ても連絡する方も増えています。

また、大学生のボランティアグループと繋がりを持ち、毎回2〜3人の学生に来てもらいごどもの遊び場の見守りをもっている。

お寺内の施設(厨房、食事をするスペース)での開催。資金は、元々種指徒の別のボランティアグループがチャリティバザーを継続的に開催しており、その売上金から最初の資金提供を受けて始めました。

食材は代表の義父母が近隣の「青空野菜市」で安く購入した野菜、果物等を送ってもらったり、お寺にいただいたお米や調味料などを使用。肉、魚なども量購入で安く押さえる工夫をしています。

最近新しく始めた試みとして、食堂利用者などが必要になったごも服を譲ってもらい、それを1点100円で販売して、資金の足しにしています。

「こちらはまだまだ大きく展開しておりませんが、一方的に提供するだけでなく、参加してもらいたい」という考えもあり始めました。

●**ミニミニ子ども食堂**(東京都)

社会福祉協議会等新規区にも未来基金からの助成をいただきました。

●**駒岡 丘の上子ども食堂**(神奈川県)

ボランティアの方の継続、維持が今後の課題

あるため、ボランティアは足りている。子どもと老人の多い地域、という特性。

●**ダイコン子ども食堂**(東京都)

まず第1に、つづけるために気負わないこととす。規模の大小、参加してはありますが、少な気は活動の良し悪しではありません。区民館を使用している、民間の施設よりも割安で利用できる上に、区に団体登録をしているので半額で使用しています。

資金・食材・ボランティアについては、共感を得るための広報活動、に力を入れています。活動を伝える努力をしないと、何も相手には伝わりません。味方が増えれば、人が人を呼んでくれます。

具体的には、ウェブサイト・ブログ・SNSで発信することにより、食材・寄付金は全国から募ることが出来ます。少しずつ関係を保ちたおかげで、区から助成金事業として採択をいただきました。そして、基金からの助成も決定しました。資金も同じく、伝える努力が必要不可欠です。

ボランティアについては、「ブログを読んで参加してみよう」と思いました、と言ってくれる方も大勢いらっしゃいます。また社会福祉協議会からも、元教師の方などを紹介していただきました。

そして、不定期でイベントを開催して、自分たちの口で活動を伝える。機会も設けています。チラシを配りながらお話をした後、ボランティア参加してくれた方もいらっしゃる。

●**北品川クロモン子ども食堂**(東京都)

キッチンも狭く、多人数で共用することが

題。場所、資金その他は今後も大きな問題になることは思えない。公共施設を指定管理で運営していくと言った形態の優位性があるので、

●**あきしま子どもクッキング**(東京都)

場所は公民館、資金は寄付。食材は市民農園、ボランティアはネット募集

●**西荻・寺子屋食堂**(東京都)

近所のおじちゃん・おばちゃんクラブとして会費を正会費、賛助会員をつのつてその会費と寄付をこまめにこのころ賄っています。できるだけ地域の力を育て、地域の中での循環ができればと思っています。しかし現状はまだまだそこまではほど遠い状況です。

●**まるちゃんカフェ**(東京都)

小平では幸い社協が協力してくれているため、企業や個人からの寄付や食材の提供を繋いでくれています。また畑でれた野菜を提供してくれる方も多く、スタッフは幼稚園や生協のつながりて生まれタルプで3カ所それぞれの特長を活かして運営しています。

●**ひがし子子ども食堂**(山梨県)

現在月2回開催しております。開催回数も18回を迎え、私達のために農家の方が野菜を栽培して頂けてる協力も頂いたり、お米も定期的に支援頂ける方も増えたりもしています。また私達の活動は食育の面でもこの連の信頼関係の構築が主であり、このごも子ども達から様々な悩み事と聞けるようになった。これも運と奇いながら、将来大人になった時、自立出来るような支援を継続的に行っております。

難しい作りなので、最初に自分で決めたルール。仕込み、調理、片付けはひとりやることを徹底しています。ごも食堂中はボランティアさんとお遊びをしてくれませんが、そのボランティアさんとも人間関係をはずす、来たいときに来てくださるとお願いするくら。人手が足りないときは、ごもたちが手伝ってくれます。自分たちのごも食堂だって自覚があるみたいで、食材については、飲食店を経営しているので、余った翌日の営業で使えます。足りないときは営業用に仕込んだ食材を使ったりしますので、無駄になりません。

●**池田子ども食堂さくら**(大阪府)

活動資金の為に、ロコ入りの紙で包んだおにぎりを作り(保健所許可済み)、学校行事お祭り、イベントの際、自転車リヤカーで販売し、また、予約をこて、配達も行なっています。

●**子ども食堂キタクマ**(東京都)

フェイスブックやHPでの呼びかけ。食材はいつも募集しているものと、次回必要なものを更新。ボランティアは、地域の母親連絡会、婦人会など団体へ呼びかけ。

●**まんがん子ども食堂**(埼玉県)

場所・寺の厨房・和室(36畳)
資金・毎月5000円を寺の会計から補てんしているが、最近は野菜の寄付などが多くあるのでマイナスになることはほとんどない。食材・地元の農家からの寄付・檀家からの

現在 SNS等を駆使して食材とボランティアの確保が出来ております。やはり場所と開催日時の固定化が必要で、公民館の都合で日程や時間の調整が必要となったりして、まだまだ思う様に行っていない状況です。そして資金面についても持ち出しが多々多く、安定していない状況ですが、毎週できるように現在スタッフが一人となって努力しております。

●**あお子ども食堂**(東京都)

駅近の元居酒屋さんという絶対好の場所と設備です。オーナーが地域貢献のバーナーを採っていて、区議紹介によって話がまとまりました。資金(寄付、食材、ボランティアは、先行して実施していた「バル」ごも食堂)の実績が地元で評価されているため、集まりやすい状況です。

●**バル子ども食堂**(東京都)

場所は公共施設の調理室です。別の団体が老人給食の事業のために区へ高齢支援課のバックアップを受けて優先利用している場所なので、私たちも来年度以降、区のごもとの資困対策の部署が新設されるので、そのバックアップを受けたと考えています。寄付はチラシ配布など、苦勞して募っています。

●**ぞんみょういこ子ども食堂**(東京都)

JAや農家から野菜、お米を長期的に提供してもらっている。社協連携で助成金や保険の加入で安全確保。メニューの固定化、ボランティアの固定化とスタッフ間コミュニケーション最重要視する。参加者登録制で人数はほぼ固定。

寄付・地域の小学校の給食の食材の卸業者からの寄付をいただけるようになったので、野菜・調味料や米などはほとんど買っていない。ボランティア・ダイコン子ども食堂の只野さんより、近所の栄養士さんを紹介していただく、社会福祉協議会のボランティアセンターを通じて、高齢者向けの食会食のボランティアをしている人を中心に募った。多くの食事を作ることに長けているだけでなく、衛生面での知識や経験を多くもっている、一般のかたが調理するよりも安心感がある。参加者にとっても安心感がある模様。その他、地域の民生委員、主任児童委員、保母関係の大学生などにボランティアとして参加してもらっている。ボランティア希望の方はとても多いが、大人数にならないように、ほとんどの方は断っている。

その他、市役所から委託されている生活困窮者向け相談窓口数か所とを連携して、届けたい家庭へ周知活動を行っている。その他の周知活動は近所の児童館にチラシを置いていた。

他の食堂さんとの違いは、イベントには全くなく、ただ食事をしてなんとなく談笑しながらつづけるというスタイルなので、参加する例に比べては参加するハードルが低く立ち寄りやすい模様。

●**西東京わいわいクッキング**(東京都)

場所について——公民館兼として実施している、公民館を利用してきているのはたいへんありがたいです。今後、自立して実施するために準備中。市内の他の食堂は、社会福祉協議会が居場所事業として開設している地域の場を利用している。コミュニ

ニッソー食堂が休業日に実施している「こども介護施設がカフェで月1回日曜日に実施している」ことなど、様々です。

ボランティアについて「子どもの貧困についての学習を大切にしているネットワークです。学習に参加してくださった方に呼びかけしています。」

●**せたがや子ども食堂・みっと（東京都）**
活動日に「みっと」の大きな旗を出している。時々、特別企画をして、そのチラシを地域の小・中学校の児童館、保育所などに配布して活動周知をしている。
・活動の振り返りをして、必要な時はボランティアと一緒に全体ミーティングをしている。また、有識者に活動のアドバイスをいただくこともある。

●**石神井ゆっやけこども食堂（東京都）**
場所は賃貸物件で駅近なので案内しやすい。定期開催に支障なし。
資金は参加費、カンパ等にて工面できている。
食材はお米100%寄付、野菜70%おすわけプロジェクト畑などより。の現物調達。その他は現金調達です。
ボランティアはやや不足。開催日よりばらつきあり、メニュー立案も苦慮。

●**はちおうじ子ども食堂（東京都）**
市の住職さん場所をお借りしております。その場所の外壁に大きなホワイトボードを設置して、次の子ども食堂の開店日を書き

で告知しております。誰でも消せて書き込めるので、ある時は地域の方から応援のメッセージや、ある時は子どもの落書きがあります。開店日当日やSNS以外で、当日の雰囲気が見えるので、つながりや広報にもなると思います。

また資金面では、不定期に街頭募金を駅前で行います。運営の資金の時もあれば、みんなで合宿に行くための資金の時もあります。しかし資金を集めることも目的の一つではありませんが、街頭募金の一番の目的は、市民のまだ届いていないところに子ども食堂のことが子どもたちの取組・考え・環境を思を届けることだと思っています。理解を広める一つの方法だと思っています。

●**みんなの食堂（東京都）**
学生のボランティアさんを付けてから子ども達の食堂への反応がよくなったと思います。

●**ふしみこども食堂（富山県）**
場所・公民館を無料で利用
食材・地元の方から野菜、地元食卓会社からのお酢、肉の寄付
資金・地元の方からの寄付/町からの助成金
ボランティア・地元主婦や地元料理クラブの方々の支援、畑での収穫体験

●**ちゅうふ子ども食堂（東京都）**
市が設置する集会所を借りて運営しています。目の前が公園なので、遊んでいる子にも声をかけて、一緒に遊んで、「飯を食べます。夏の三山出店、冬のクリスマス会を、節目にはイベントをして、来たボランティアさん

も思い出になるような体験をしてもらっています。

●**みなと子ども食堂（東京都）**
運営自体で必要なのは、資金（食料費）が大半を占めますが、運営スタッフ育成にも必要性を感じていますが、毎回行っているフィンを維持するスタッフはなかなかのぞめません。あとは、地域で求められているニーズや現状をどうマッチングさせて行くかを、色々な方々や区とも連携して行かなくては、新たな卒の課題です。

●**こども食堂がくしゅうじ（東京都）**
社会福祉協議会と連携していることもあり、市や社協に寄付された食材などがこちらに届けてきます。また地域コーディネーターを通じて、地域の畑ボランティアや農家の方が収穫期に野菜を届けてくれています。

●**空いろ食堂（千葉県）**
調味料は、フードバンクから調達、米は、寄付

●**料理人たちが作る「子ども食堂ランチ会」二股社団法人JapanFoodFrontier（東京都）**
私たちは「食」を産業とする料理人たちの団体です。「子どもを守る目」@コミュニティの首脳と共催という形で、ボランティアで料理人を派遣した子ども食堂を運営しております。今後は都内を中心し他の子どもの食堂とまへも協力できる体制を構築していきたいと考えております。

●**料理人たちが作る「子ども食堂ランチ会」二股社団法人JapanFoodFrontier（東京都）**
私たちは「食」を産業とする料理人たちの団体です。「子どもを守る目」@コミュニティの首脳と共催という形で、ボランティアで料理人を派遣した子ども食堂を運営しております。今後は都内を中心し他の子どもの食堂とまへも協力できる体制を構築していきたいと考えております。

●**八千代オハナこども食堂（茨城県）**

全面的では無いのですが、町の協力を得て、改善センターの調理室の利用提供（無料）やこども食堂開催のお知らせを町や社協からの広報で、明るイメージして無料掲載して頂いておりま。

●**Yokosuka子ども食堂（神奈川県）**

地元のFMラジオに出たり、イベントを行い、子ども食堂の周知やボランティアさん募集、食材提供、寄付、募金等を募りました。それによって、横須賀、三浦の農園さんやパン屋さん飲食店さんからの食材提供もいたっています。

●**ほんそん子ども食堂「いただきます」（神奈川県）**

場所は教会のラウンジ、キッチン、プレイルームをお借りしています。地域活動支援センターの作業所の畑の野菜を「寄付」いただいています。ボランティアさんが調理、子どもが見守り、片づけを行います。

●**こども食堂、からすやま（東京都）**
資金的には「100円募金」、社協の補助金、大口寄付金等で当面潤沢です。
食材はお米70kgを熊本・水増集落から寄贈された。企業経営者からクリスマス会用に鶏もも肉6kgが寄贈された。

場所は社協さんのふれあいの家を寄贈開放していただきました。

2 支援が必要な子どもたちとつながっていくための実践例

●**子ども村：中高生ホッパーステーション（東京都）**

1、子どもを取り巻くネットワークを作る

【学校との連携】

子ども達が生活する学校、家庭、地域が顔が見える関係構築が必要に思っています。教育委員会という行政の窓口はなかなか難しいが、この夏に学校の先生方に直接声をかけ、「子どもを育てる」大人の会を開催した。私たち地域が先生方の本音であるところのお気持を、お考えを知り、また、私たちが地域で活動している事を先生方に知っていただく事で、情報を共有し、それぞれの立ち位置によって役割を分けながら子ども達を最大サポーターする関係を作ろうという事になった。今後も継続的に実施の予定。

【地域の他の活動との連携】

同じ区の中で活動している居場所づくりの他活動と連携を始めた。ウェブサイトで子どもの居場所づくりやフードバンク、シングルマザーの会、冒険遊び場の会など、リンクするのではなく全体的な形

のホームページを作成中。ホームページ検索でもヒットしやすくなるし、連携していることで、情報を求める人たちに現在だけでなく今後でもサポートする場所があることを知ってもらうことができる。

2、支援したい子どもたちに来ってもらう方法

①スクールソーシャルワーカーとの連携
不登校の子ども達に、学校と家庭の中間にある場所である居場所、学校に行き練習として来てもらう。スクールソーシャルワーカーや先生方に不登校気味な子どもや、学校になじめない子達を繋いでいたという。不登校である子ども達は、人となれる練習として少しずつ様々な年齢の人がいる居場所に慣れながら、人にも慣れていく。

家庭訪問などもいっしょにする中で、子どもについての情報を共有するところからできた。特に、専門に子どもと関わるお仕事の立場の方（スクールソーシャルワーカーや学校の先生方）は、子どもの家のドアを開けたり、中に入る事ができなく、家宅侵入と訴えられることもあるそうだし、地域のおばちゃんとしてできる事の違いがあるので、一緒に訪

問することがお互いに情報も得やすい。

②多方面にわたる子ども達の活動との連携
学習支援の会（区主催）、中3生の受験サポートの会（自主運営）、高校生の討論会（自主運営）などに参加の子ども達に生活の様子を見ながら声をかけている。

③学校の公開授業などに伺い、自分の知っている学校では子ども達の様子を聞いたり、先生方に活動の事を紹介し、そのような情報があることを子どもに知らせてもらった。

④まずは長活動をしている中で、地域の方々に認識をしていただく。

お客さんとして来てもらうのではなく、日常の子ども達を支えるので、いきなり来る事は出来ないと思う。地域の児童館のスタッフや、地域の知り合いに子ども達の様子を必ずしは聞き、「食べさせる」事に特化しないで、「子ども達の居場所をつくる」事をまず考えていく。

●**信州こども食堂（長野県）**

地域で、緩やかなネットワークができてい

●**ねりまこども食堂（東京都）**

ボランティアの方々と知り合いの教員や地域で活動している人々によって、色々な人に話すことによって困難を抱える親子、或は子どもにつながりました

●**下町こども食堂 さへひ（千葉県）**

色々な人に自分がこども食堂をやっていることを伝えていくうちに、地域でいろいろな活動に興味を持ってくれる人がどんどん増えていきました。また、学校や行政にもかまめにお話する機会を持ち、当初はなかなか協力を得られなかったですがだんだんに協力してくれるようになりました。また、社会福祉協議会を通じて行政に連携をお願いしてもよいかと思っています。

●はこだて子ども食堂(北海道)
つくつてたべよういじょうにたべよう

既存会員の保護者への活動趣旨の説明チラシを配り、周りのお子さんで気軽に子どもと一緒に連れまわしたく。地元のリースクールとの連携。

●東長寺子ども食堂(東京都)

まず、地域の活動拠点としてもお寺を活用して欲しいという観点が、町内会に関係を持つところから始まりました。

檀家さんの中に地域の民生委員の方がいらして、その方からの紹介で町会の掲示板にポスターを貼ってもらったり、幼稚園・保育園・小学校に紹介いただきチラシを置いていただいたり。スパーでチラシを置いて下さるところもあります。

チラシを毎月つくる(毎月の日時を書き加えるだけです)ことによって、毎月幼稚園などに出品して担当の方とお話しをさせていたでいて、またチラシを置いていただくという「対話」も続いています。いろいろな情報もいただけるので、大切にしていることです。区の社会福祉協議会にも、子ども食堂を始めるにあたって相談をしました。

実際に開催日を見たいだったり、先方から別の活動をしているグループについて連携の相談を受けたりと、互いに情報交換をしています。

その関係で、新宿区の別の地域で活動されている先輩子ども食堂の方々と横の繋がりができました。ボランティアスタッフが足らなくて困っているときにお手伝いいただいたり、情報交換をしたりで大変に助かっている

堂」と情報交換をする。

◎区の「子ども・子育て会議」で発声する。

●みなみすな子ども食堂(東京都)

地域の学校に訪問し趣旨を説明、賛同いただいたりして学校でチラシを子どもたちに配布してくれています。また保健相談所、子家セ、福祉事務所等に顔を出してチラシを定期的に配布、学校には開催時の様子などを定期的に報告して関係を築いています。

●キタナラ子ども食堂(千葉県)

新聞の地域誌「ミニコミ、フリーペーパー」の取材依頼を積極的に受けたいが、早い時期に地域での認知が高まったと思う。半年で5箇所子ども食堂が市内に生まれ、それぞれ独自に取り組みをしている。場所、背景などが多様なので、情報交換し風通しをより良くするため最近ネットワーク化し、今まで以上の密な交流を図ろうと模索中。

●たまづなはん(神奈川県)

参加した子どもたちが、次回仲の良い友達を誘い合っていることで、貧困家庭の子どもだけが参加する、というイメージがなくなっている。という点で雰囲気は開け始めている。またスタッフの多くが民生委員であり、気になる未就学児親子の声かけなどもしている。

広報は、小学校へのポスター掲示と地域ケアプラザのみではあるが、SNSの利用により、高校生の参加も見られるようになった。

●ダイコン子ども食堂(東京都)

練馬区は子ども食堂の数が多いのが特徴です。「ねりま子ども食堂」「神井ゆうやけ子

こ」の一つです。

●ミニ子子ども食堂(東京都)

毎月、不定期での開催なのでチラシを製作しています。小学校は本来、教育委員会の後援がなければ配布とはいえないのですが、校長先生が特別に児童に配布してくれています。毎月のチラシ作りが趣味になって来ました。3000枚印刷しています。裏面が参加申し込み書になっています。

●駒岡 丘の上子ども食堂(神奈川県)

行政との協力体制の確保が一番の問題か???

●あきしま子どもクッキング(東京都)

すでに地域で活動されている方々と交流を重視して、ともに地域をつくりいく意識を醸成することを意識しています。

学校や行政は、そのような民間の取り組みをよみ見ていますので、そのようなネットワークが形成されていけば、自然とながっていくのではないかと、というのが現段階での印象です。

●西荻・寺子屋食堂(東京都)

まだなかなかうまくいっているというわけではありませんが、方向性として、区内の子ども食堂のネットワークができあがり、ネットワークの事務局を社会福祉協議会がなり、連絡会が出来た。各地域ごとに様々な形態の子ども食堂があり、それぞれ地域に必要となりつつある。

地域を中心とした小さな街の循環をつくるとしています。しかし、どのようにしてい

たらいいか、暗中模索の状況です。

●まるちゃんカフェ(東京都)

地域の民生委員やスクールソーシャルワーカーの方が協力してくれ、来てもらえるよう誘ってもらっています。スクールソーシャルワーカーの声がけで学校関係者にも認知してもらっています。1カ所は完全クローズ(一般の人には知らせない)での開催ですが、他2カ所は大人も子どもも、1人でも大勢でもワエルカムで、一緒に楽しく食卓を囲んでいます。

●ひがし子子ども食堂(山梨県)

行政との連携が課題であり、行政の担当レベルでは理解を頂いておりませんが、なかなか連携に対してはうまくいっていない状況です。そんな中、山梨県社会福祉協議会がこの活動の認知が始まり、ゆっくりですが前に進んでいる状況です。今後は山梨県内での子ども食堂のネットワーク作りが課題であります。

●おおこども食堂(東京都)

先行実施している「バル子ども食堂」が経済的困難を抱えた子どもたちと直接つながっているため、支援のネットワーク(NPO、社協、児童養護施設、民生委員、行政、議員など)が徐々にできてきています。その中で誰かを参加できるオープンな子ども食堂として「おおこども食堂」を立ち上げたので、近隣の学校や青少年育成地区委員会にも協力を求めやすい環境ができました。おおこども食堂は子ども100円、大人300円という値設定をしていますが、障がいのある子や外国にルーツのある子ども、気にならず

先方実施している「バル子ども食堂」が経済的困難を抱えた子どもたちと直接つながっているため、支援のネットワーク(NPO、社協、児童養護施設、民生委員、行政、議員など)が徐々にできてきています。その中で誰かを参加できるオープンな子ども食堂として「おおこども食堂」を立ち上げたので、近隣の学校や青少年育成地区委員会にも協力を求めやすい環境ができました。おおこども食堂は子ども100円、大人300円という値設定をしていますが、障がいのある子や外国にルーツのある子ども、気にならず

●まんがんじ子ども食堂(埼玉県)

市役所から委託されている生活困窮者向け相談窓口数か所とを連携して、届けたい家庭へ周知活動を行っている。その他の周知活動は近所の児童館(学童保育併設)にチラシを置いていただけです。

役所とも話し合いをしたが、目指す方向性の違いやスピード感がないために早々に連携をお断りした。

●西東京わいわいクッキング(東京都)

共済社会の実現についての市主催のシンポジウムで発言しました。行政が子ども食堂を取り上げ始めています。

クッキングには市長や様々な会派の議員も見学に来たので、子どもの貧困について、市議会でも話題になりました。

学習支援を行っている場でも子どもたちと声をかけ、支援が必要な子にもつながりができきています。

●せたがや子ども食堂・みっと(東京都)

メンバーの脈を生かして、地域の学校や主担重責さんと繋がっている。また、世田谷区社会福祉協議会を通じて区の担当者と面識がある。

しかし、実際に支援が必要なものに行き着くためには、時間と地域性を生かしたアプローチを常に考えて行動していくことが必要であるとは感じている。

その親には無料で食事ができる券を渡してもらうように、学校の先生や民生委員さんなどにもお願いしています。バル子ども食堂の子とその家族、ボランティアで学習支援している大学生にも無券を渡しています。

●バル子ども食堂(東京都)

立ち上げるまでに区の教育委員会連携学習課主管の「民大生」で子ども支援ボランティア講座を何度も開催し、子ども達の現状について学習し、支援希望者につながっています。

●ぞんみょう子ども食堂(東京都)

地域の保健師、社協、プレイパークの方々と連携。子ども会、子育てサロン、ファミサポを行う中で出会った母子家庭や虐待が懸念される家族などに声をかけ勝。来れなかった家族を毎月把握し偶然会った際声をかける、等。

●海野川子ども食堂(東京都)

◎世話人の子どもが保護司をしていて、地域の区立小学校8校の保護者や先生方に参加してもらった集会で「子ども食堂」をテーマにした。

◎地区担当のスクールソーシャルワーカーや養護の先生と連携している。

◎社会福祉協議会・区内の他の「子ども食

●石神井ゆうやけ子ども食堂(東京都)

運営メンバーの職場の同僚(カウンセラー・養護教諭)との連携。

「野菜のおすそわけプロジェクト」に参加中。協働団体や不登校の居場所活動との乗り入れが若干あります。

●はちおうじ子ども食堂(東京都)

地域の市民活動センターに相談に行っていたつながりが、市内の支団団体や行政につながるきっかけになりました。

●ふしみ子ども食堂(岐阜県)

教育委員会、学童、民生児童委員と連携し、情報共有および支援が必要な家庭への情報提供、学童へのお迎え(生活困窮家庭の参加費は無料、食料に余裕がある場合は食料の提供、子ども食堂に来られない家庭にはお弁当に代って配達)

●ちゅうふ子ども食堂(東京都)

社会福祉協議会が運営する、市民活動支援センターに相談して立ち上げました。広報協力、ボランティアの紹介をこなしていたでいます。

●みなと子ども食堂(東京都)

行政からは補助金(施設費半額補助)で、他にはまだありませんが、社協さんや他団体さん、学校との連携は良い関係が築いています。あと大切なのは口コミでした。1人1人の利用下さる方からの伝達力。これが利用される方々に支援、各種情報に繋がりが、大変役立つと思っています。

こども食堂 サミット2017

～こども食堂のつづけ方～

今年の「こども食堂サミット」のテーマは、「こども食堂のつづけ方」です。
2016年に大きく広がったこども食堂を「安定して継続させていくための方法」や
「地域でのネットワークのつくり方」について、
全国のこども食堂を運営するみなさんと考え、共有していきたいです。

日時●2016年1月15日(日) 14:00～16:30
※16:30～17:30まで交流会を予定

場所●としまセンタースクエア
〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所1階

参加費●無料 定員●200～250人

第1部

基調講演(50分程度)

地域で子どもを育てるために～「だいじょうぶ」の実践から～

NPO法人「だいじょうぶ」 畠山由美さん

NPO法人「だいじょうぶ」は、子どもの虐待防止を目的にさまざまな活動を行なっています。
地域住民として子どもに関わり、ニーズに合わせた「場づくり」を展開されている畠山さんに、
住民目線の地域活動についてお話いただきます。

第2部

リレートーク(90分程度)

こども食堂のつづけ方

こども食堂に関わるさまざまな方(7～8名)にご登壇いただき、こども食堂をつづけるための、
そして地域でネットワークをつくっていくためのヒントをお話いただきます。



こども食堂さんの実践例について

「こども食堂サミット2017」へご参加される約90のこども食堂さんに、「こども食堂をつづけるうえでの課題」を事前に伺いました。その回答を集約すると、大きく2つの課題が見えてきました。

- 1、こども食堂をつづけるために必要な資源(場所、資金、食材、ボランティアなど)の確保
- 2、支援が必要な子どもたちとどうつながっていくか(地域でのネットワークづくり、学校や行政との連携など)

そこで、こども食堂ネットワークに参加しているみなさんに、この2つの課題に対して、ほかのこども食堂さんの参考になるような「実践例」を募集したのが、ここに記載した文章です。
こども食堂ネットワークでは、それぞれのこども食堂さんの多様性を尊重したいと考えていますが、ここに掲載した実践例が、少しでもみなさんの活動のヒントになればうれしく思います。

こども食堂ネットワークについて



こども食堂ネットワークは、地域でこども食堂を運営している方たちが交流をし、こども食堂の輪を広げるための連絡会です。ウェブサイトで各こども食堂さんの情報を掲載したり、メーリングリストで情報や食材などを相互提供しています。参加費などはありません。ご参加を希望されるこども食堂さんは、事務局までお問合せください。

こども食堂ネットワーク事務局

電話●03-5365-2296(平日10時～18時)

メール●info@kodomoshokudou-network.com

ウェブサイト●http://kodomoshokudou-network.com/

●こども食堂からすやま(東京都)
当会では発起人、幹事が、PTA、民生児童委員、健全育成地区委員、保護司、中高生の児童館スタッフ、児童福祉施設・母子支援施設の関係者、社会福祉協議会の地域コーディネーターです。
地域の事情をうまくわけているメンバーが集まって始めたので、大変さだったり、ちよっと手を出した方がいい家庭だったり、母子家庭や課題のありそうな家庭の子に、ピン

ポイントで声をかけています。
ほとんど同じ小学校の子どもたちで、子ども同士声をかけ合って口コミで参加者が広がりました。
一民間団体に対して、学校から子どもの情報が出てくることはあまり見込めませんが、日頃から地域のつながりの中で関わっていると、自ずから情報収集はできます。
それでも、引きこもり気味の子などはなかなか出てきません。アウトリーチをどこまでできるのか。その辺は課題として残っています。

●八千代オハナこども食堂(茨城県)
町内の各小学校へこども食堂開催の案内を出したところ、先生より、ビックアップして頂く事があります。
●ほんそん子ども食堂(神奈川県)
見学を積極的に行き入れ、地域での子ども食堂の広がりを支援しています。

●こども食堂からすやま(東京都)
今年1月に世田谷区協賛を中心として世田谷区内のネットワークを構築する予定です。